

・ことわざをおぼえよう **2**

① 頭あたまかくして尻しりかくさず

▽かくしたつもりでも、少し見みえている

(きじが草くさむらで頭あたまをかくしていてもしっぽぽが見みえている)

② 目めの上うえのたんこぶ

▽とても目めざわりで、じゃまな人

(目めの上うえにできたこぶは、とてもじゃまに感かんじる)

③ ぬれ手てであわ \*「あわ」はこくもつのことだよ!

▽苦くろ勞ろうしないで、りえきを手てに入いれること

(ぬれた手てであわをつかおと、たくさんあわがつく)

④ 口くちはわざわいの元もと

▽よけいなことを話はなすと悪わるいことの元もとになる

⑤ 飼かい犬いぬに手てをかまれる

▽めんどうを見みてあげた人ひとにうらぎられる

(かわいがっている犬いぬに手てをかまれた)

⑥ 馬うまの耳みみに念ねん仏ぶつ

▽いくら言いってもききめがない

(馬うまにねんぶつを聞きかせてもむだ)

⑦ 腹はらの虫むしがおさまらない

▽いかりががまんできない

(おなかの中に虫むしがいて、おこってあばれている)

⑧ ほとけの顔かおも三度さんどまで

▽心こころの広ひろい人ひとも、いやなことを何度なんどもされるとおこる

(仏ほとけさまも三度さんどばかりにされるとおこる)

⑨ 鬼おにの目めにもなみだ

▽思おもいやりのない人ひとも、たまにはやさしくなる

(ざんこくな鬼おにも泣なくことがある)

⑩ 目めから鼻はなへぬける

▽とても頭あたまがいい

(目めで見み分わけて、鼻はなでかぎ分わける)